

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は30) また、5教材を補助教材として扱っており、本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、学期ごとに1年間の振り返りができるよう工夫している。 切り取り式の心情円やホワイトボードがあり、話し合い活動が円滑に進められる設定がある。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、1年間の振り返りができるよう工夫している。 保護者の方へというページがあり、家庭との連携を図っている。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は30) また、5教材を補助教材として扱っており、本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、学期ごとに1年間の振り返りができるよう工夫している。 次年度の目標を記入し、保護者と教員の記入欄を設け、家庭との連携を図っている。</p>
	別表1			

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は34)ただし、2時間扱いで学習する項目が1教材含まれている。 また、第3学年で内容項目を2つ含む教材が1教材ある。 本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>学習のまとまりを4つの時期に分け、まとまりごとに視点を明確にした学習ができるよう工夫している。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、4シーズンごとに振り返りができるよう工夫している。 各学年の補充教材に学び直し教材として、小学校の定番教材を掲載している。</p>	<p>本冊と別冊「道徳ノート」によって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>別冊「道徳ノート」には、教材ごとに自己評価欄があり、学習の振り返りができるよう工夫している。 巻末には学習の記録がある。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に「心の四季」のページがあり、心の成長の振り返りができるよう工夫している。3年生は「未来への扉」のページがあり、未来の自分へメッセージを書くことができる。</p>	<p>本冊と別冊「中学生の道徳ノート」によって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」は、本冊の教材順ではなく、内容項目ごとのページで構成されている。また、本編の内容に沿った補助資料がある。 それぞれの内容項目のまとめ、巻末に、学習の記録がある。 「心のしおり」というシートがあり、自己評価ができるよう工夫している。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は37) 本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本編は、4つの視点の順で構成されている。</p> <p>本冊の巻末には、内容項目ごとに自己評価欄があり、学習の振り返りができるよう工夫している。</p>

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫 別表2	教材ごとに、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる発問を設定している。	各教材で学習したことを記録しておく「学びの記録」を設定し、生徒が後でこのページを見て自分を振り返ることができるよう工夫している。	教材ごとに、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる発問を設定している。

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
教材ごとに、テーマを明文化し、視覚に訴えるよう工夫している。 「私の気づき」というフリースペースを設定している。	教材ごとに、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる発問を設定している。 別冊「道徳ノート」には、友達のことを書く欄も設定し、考えを深めるよう工夫している。	内容についてペアや小グループからクラスでの話し合いを促すようなページを設定している。	教材ごとに考えを深める発問を設定している。 別冊「中学生の道徳ノート」ではテーマごとに自分の意見を記入したり、理解度を振り返ったり、グループでの話し合いを書きとめたりできるよう工夫している。	教材ごとに、教材内容について考えさせる発問の設定やわかりやすいイラストを用いるなど工夫している。それらをもとに自己を振り返らせる発問を設定している。

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫	教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに「考えてみよう」のコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。 巻末にはホワイトボード用のマーカーでみんなで意見を書き込めるシートが盛り込まれており多面的な意見を考えられる工夫がある。	教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに「心の扉」のコーナーを設定している。そこでは、チェックを入れる質問や自由に意見を書き込む欄など様々な表現方法で考えを深めさせる工夫を取り入れている。	教材の冒頭部分に、学習のめあてを質問形式で明記している。 教材ごとに「学びの道しるべ」のコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。

別表3

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに「学びのテーマ」のコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫をとり入れている。また「つなげよう」のコーナーでは他教科へのつながりを促すよう工夫している。	教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに発問が設定してあり、考えを深めさせる工夫を取り入れている。 別冊「道徳ノート」に、自分を見つめ考えたことや友達の意見を書き込めるよう工夫している。	教材の冒頭に、学習のめあては明記されていない。 教材ごとに発問を一つ設定している。また、「深めよう」「クローズアップ」などのコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。	教材の冒頭に、学習のめあては明記されていないが、各教材に学習の手がかりとしてめあてが明記されている。 教材ごとに「考える・話し合う」コーナーが設定されており考えを深めるよう工夫している。 別冊「中学生の道徳ノート」では内容項目ごとにどの教材が関連づくのかがわかるようにしてある。	教材の冒頭に、学習のめあては明記されていない。 教材ごとに「考える、話し合ってみよう。そして、ふかめよう」コーナーが設定してあり考えを深めるよう工夫している。

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<p>「考えてみよう」で考える視点を示している。いくつかの教材では、直接設問を書き込みながら考えを深める工夫がある。</p> <p>「いじめ」等に関する資料では考えたりグループで話しあったりする問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>巻頭に「話し合いの手引き」や「司会カード」をつけ、話し合いを進めやすくする工夫がある。また、役割演技や対話など様々な体験的学習を設定している。</p> <p>心情円盤や、ホワイトボードを付録として付けるなど自己表現の工夫がある。</p> <p>学期ごとに切り取れる「今の自分を振り返ろう」を掲載している。</p>	<p>「学びに向かうために」や「心の扉」のコーナーの中で、自分の生活に立ち返り、自分とのつながりの中で考えさせる工夫がある。</p> <p>「いじめ」等に関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>巻頭にサイコロトークで話す練習をさせ、毎時間の意見交換につなげている。</p> <p>学期ごとに「学びの記録」で振り返りを設定している。</p>	<p>「学びの道しるべ」で考え方の方向性を示し、自分とのつながりの中で考えさせている。</p> <p>「いじめ」等に関する資料では考えたりグループで話し合ったりする問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>巻末に「学びを記録しよう」(1年分)と「次年度の抱負」を書く欄を設定している。</p>
	別表4			

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>「学びのテーマ」で考え方の方向性を示している。また、自分の気づきや意見を直接書き込む欄を設けている。</p> <p>「情報モラル」や「いじめ」などに関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>4つのシーズンといくつかのユニットで構成している。また、他教科との関連を明示したり、関連する本の紹介をしたりする工夫がある。</p> <p>巻末に、切り取れる1年間の振り返りシートを掲載している。</p>	<p>「考えてみよう」で考え方の視点を示し、「自分に+1」で自分に引き寄せ考えさせている。</p> <p>「いじめ」や人間関係に関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>「学習の進め方」として、体験的学習の進め方を写真入りで説明している。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>別冊「道徳ノート」で毎時間の振り返りと、巻末に印象に残った学習の振り返りを設定している。</p>	<p>教材のあとに、考える視点を示している。また、巻頭にプロフィールを書く欄を設定している。</p> <p>「いじめ」「人権」に関する資料について個人で考えたりグループで話し合ったりして問題解決的な学習を取り扱っている。また、いくつかの教材をまとめてユニット化し、考えを深める工夫がある。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>コラムで自分を振り返り、自己肯定感を高める工夫がある。</p> <p>巻末に、自分の成長の振り返りを設定している。</p>	<p>「学習の手がかり」に考える方向性を示している。また別冊ノートの巻頭でプロフィールを書く欄を設定している。</p> <p>「情報モラル」や「いじめ」などに関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合いや調べる学習・役割演技などの体験的学習を設定している。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」には、内容項目についての考え方を示している。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」で、内容項目ごとのまとめと、自分の振り返りを設定している。また巻末に1年間の振り返りを設定している。</p>	<p>「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」で考え方の方向性を示している。</p> <p>「いじめ」「人権」に関する資料では、個人で考えたり話し合ったりして、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合い、リフレミングや錯視の体験などの体験的学習を設定している。</p> <p>巻末に「心の成長」の振り返りと「道徳の時間」の振り返りを設定している。</p>

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(4) 情報モラルと現代的な課題の取扱い 別表5	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 目次の項で、「情報モラルと友情」と表記し明示している。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 目次の項で、「情報のモラル」というマークを用いて明示している。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 「道徳が始まる」の項で、情報モラルとして扱う教材を明示している。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 巻末の項で、「情報モラル」と表記している。また、3年生については、本編での掲載はなく、コラム欄で取り扱っている。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育とキャリア教育を幅広く取り扱っている。	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 目次と巻末の項で、情報モラルと明示している。また、「プラットホーム」と題されたコラム欄で補足教材を掲載している。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 目次の項で、情報モラルと明示している。また、「クローズアップ」と題されたコラム欄で補足教材を掲載している。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 目次の項で明示していないが、教材としての取り扱いはある。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。	情報モラルに関する指導や現代的な課題については、内容項目との関連を踏まえつつ取り扱っている。 目次の項で明示していないが、教材としての取り扱いはある。 現代的な課題については、いじめ問題への対応や、国際理解、環境教育、キャリア教育を幅広く取り扱っている。

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(5) 他の教科等との関連	教材名の下に丸囲みで関連する教科等を明示している。 「テーマで振り返ろう」の項で、教材が6つのテーマに分類されている。	他教科との関連に關しての明示はない。 目次の項で、教材名の下にイラストにより大切な10のポイントが分類されている。 また、各教材の冒頭にも同様のマークがある。	他教科との関連に關しての明示はない。 各学年の「道徳が始まる」の項で、テーマごとに教材が分類されている。
	別表6			

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
巻末の項で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。 「テーマ別教材一覧」の項で、7つのテーマごとに教材が分類されている。	巻末の項で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。 「この教科書で学ぶテーマ」の項で、11のテーマごとに教材が分類されている。	巻末の項で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。 巻末の欄外に「国語や数学など、道徳の学び全体に関連する教科・領域もあります。」という注釈がある。 「様々なテーマで学ぼう」の項で、6つのテーマごとに教材が分類されている。	他教科との関連に關しての明示はない。	他教科との関連に關しての明示はない。

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	<p>テーマを大きく示し、内容を想起しやすいようなマンガを用いるなどの工夫がある。</p> <p>固有の人や物については、写真で紹介することにより、教材が理解しやすくなるように配慮をしている。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>	<p>教材マークや活動マーク、大切な10のポイントマークにより、学習の内容と進め方を示している。</p> <p>挿絵やマンガの大きさや彩りを工夫し、教材に入っている。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさ、また文字の見やすさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>	<p>見開きの写真や経年比較ができるような写真など、生徒の興味を高める効果的な写真を用いた資料が複数ある。</p> <p>ポスターを利用した資料もあり、取り組みやすいように工夫している。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>

別表7

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>挿絵を効果的に用いて生徒がイメージしやすい工夫がある。</p> <p>説明内容を解説するための写真や図、グラフの配置を、本文の理解を助けるよう工夫している。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>	<p>各教材のテーマと題名ともに、登場人物や作者を掲載し、教材に入りやすい工夫をしている。</p> <p>「プラットホーム」などの教材文に関連する知識を深める効果的なページを複数設定している。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>	<p>多くの挿絵やきれいな写真を使い、教材に入りやすい工夫をしている。</p> <p>レイアウトの工夫により、余白を確保した紙面構成になっている。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>	<p>教材文と挿絵等のバランスを図り、シンプルな構成になっている。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」に、知識を広げて教材の理解を深められるような資料を提示している。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>	<p>挿絵と効果的に使い分けした鮮やかな写真を用いている。</p> <p>挿絵や具体物から様々な考えやイメージを想起させる工夫がある。</p> <p>生徒の読みを助けるために、漢字に振り仮名を付け、振り仮名の字体や大きさにも配慮している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインについて配慮している。</p>